

令和2年10月 保育所等利用申請・待機状況

(単位:人)

区分	令和2年10月	令和元年10月	平成30年10月
利用申請者数(A)	36,652	35,584	33,524
前年との比較	1,068	2,060	1,997
利用児童数(B)	32,572	30,955	29,018
前年との比較	1,617	1,937	1,825
保留児童数 (A)－(B)＝(C)	4,080	4,629	4,506
前年との比較	▲ 549	123	172
市の保育施策で対応している児童数等(D)	932	1,312	1,588
川崎認定保育園等対応児童数	687	940	1,176
おなかま保育室対応児童数	46	120	126
一時保育対応児童数	102	132	155
幼稚園預かり保育対応児童数	40	29	30
事業所内保育対応児童数 ※1	19	30	26
年度限定型保育対応児童数 ※2	38	61	75
企業主導型保育対応児童数(E)※3	181	277	158
育休関係の申請者数(F) ※4	1,793	1,687	1,255
特定の保育所等を希望する申請者数(G)※5	998	1,022	1,095
求職活動を休止している申請者数(H)※6	110	134	158
待機児童数(C)－(D)－(E)－(F)－(G)－(H)	66	197	252
前年との比較	▲ 131	▲ 55	▲ 122

※1 「事業所内保育」:地域型保育(事業所内保育)に従業員枠で利用する方、又は県・市費により運営費支援等を受けている院内保育施設を利用する方

※2 「年度限定型保育」:保育所等への利用が保留となり、1・2歳児を期間限定で預かる年度限定型保育事業を利用する方

※3 「企業主導型保育」:企業主導型保育事業に従業員枠又は地域枠で利用する方

※4 「育休関係」:10月1日時点で育児休業を取得されていて、復職の意向がないことを確認できた方

※5 「特定の保育所等」:利用可能な保育所等があるにもかかわらず利用を辞退した方、通常の交通手段により自宅から20～30分未満で登園が可能な保育所等又は市の保育施策の対象施設があるにもかかわらず利用を希望されない方など

※6 「求職活動を休止」:主に在宅で職を探するなど、保育の必要性が認められない方